



2018年9月21日
JR東日本仙台支社

農産物直売所「AOYA」で美里町フェアを開催します！

株式会社 JR アグリ仙台が運営する、今年9月に1周年を迎えた「AOYA」において、各地の農産物直売所にご協力をいただき、地域連携フェアを開催します。

「130年以上の歴史がある北浦梨」の生産者により設立された北浦梨ブランド化研究会と連携し、高糖度の美里町産北浦梨の販売を通じて、同町の魅力を発信します。

【開催概要】

- (1) 開催日 9月23日(日)～24日(祝)及び10月1日(月)～2日(火)
各初日は12時から販売開始。9月は「豊水」、10月は「あきづき」を主に販売いたします。
- (2) 開催場所 農産物直売所「AOYA」(仙台駅徒歩5分、営業時間10～20時)
- (3) 内 容
- ・生産者による北浦梨(プレミアム、スイート、スタンダード)のPR販売
プレミアム:糖度13度以上、梨の木1本につき1～2果しかとれない最高級品を、オリジナルの化粧箱に入れて販売
スイート:糖度12.5度以上、オリジナルの巾着袋に入れて販売
 - ・北浦梨2個以上ご購入の先着20名様(各日)にりんごのような味と香りがする「アップー」など、珍しい品種の梨をプレゼント
 - ・美里町の観光パンフレット配布



【北浦梨栽培の様子】



【スイート(左)とプレミアム(右)】



【りんごなしのアップー】

- (4) 協 力 美里町

(参考)

- ・北浦梨とは

美里町北浦は宮城県の4大梨産地のひとつで、130年以上にわたって梨の栽培が続けられています。市販の梨の多くは、流通時の品質を保持するために、糖度が上がりきる前に収穫された「青取り」品ですが、北浦梨は樹に生った状態のまま完熟させる「樹上完熟」にこだわり、みずみずしく糖度が高い特徴があります。このため、北浦梨の多くが地域の直売所で販売されており、仙台ではほとんど流通していません。

・北浦梨ブランド化研究会とは

地域の特産品である北浦梨の知名度向上やブランド化の推進を目的として、2018年6月に生産者が中心となり、「北浦梨ブランド化研究会」が設立されました。糖度センサーを活用した高糖度商品の企画やPR販売に取り組むなどの活動を展開しています。

・地域連携フェアとは

各地域の農産物直売所から出荷いただいた商品を様々なイベントを開催しながら販売し、その地域の農業や農産物の魅力を仙台のお客さまに発信するとともに、その地域の観光施設等のPRも合わせて行います。2018年7月に第1回（涌谷町）、8月に第2回（加美町）を開催し、今回は第3回目の開催です。

・農産物直売所「AOYA」について

① 運営会社

商号：株式会社 JR アグリ仙台

設立日：2017年1月27日

代表者：代表取締役社長 笠原治

資本金等：12百万円

出資者：有限会社川口納豆、JR 東日本東北総合サービス株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、一般財団法人蔵王酪農センター、遠藤耕太、門傳英慈、笠原治

事業概要：自社農場における米・野菜・果樹の栽培、農産物直売所「AOYA」の運営、首都圏の駅における産直市の運営等



Z17LE 第1040号
Z17LE 第1041号

「AOYA」位置図

② 農産物直売所「AOYA」

所在地：仙台市青葉区中央一丁目1-5

開業日：2017年9月5日

売場面積：72㎡

併設店舗：「LOCALDINER & TERRACEBAR VALNICO」、「惣菜・弁当 五橋」



「AOYA」外観

③ 地域と連携したこれまでの取り組み

- ・わくや産直センター「黄金（くがね）の郷」と連携した涌谷町フェア
- ・やくらい土産センターと連携した加美町フェア
- ・野菜ソムリエによる「AOYA」の野菜等を使用した料理教室
- ・米を栽培する自社農場（仙台市若林区）での田植え・稲刈り